

JIA 国際交流活動支部事業報告書
＜韓国全羅北道（KIRA 全北）国際交流＞
2024年8月26日－27日
全北特別自治道



2025/3/7

九州支部

JIA 国際交流活動報告書

- 事業名： 韓国全羅北道建築士会（KIRA 全北）国際交流
- 主催者： 公益社団法人日本建築家協会九州支部鹿児島地域会
- 事業概要： 2011年より始まった国際交流が今年も開催された。お互いの建築展でパネルの展示を行い、隔年で訪問団を派遣し対面交流を行っている。コロナ禍の中パネル展示のみの交流が続けてきたが、昨年度、5年ぶりに鹿児島市でKIRA全北からの訪問団と対面交流が行われ、今年度は、2024年8月に鹿児島からKIRA全北建築士会会長の Sung-Yeol, Lee [イー会長]を訪ね、鹿児島県と姉妹都市の全北特別自治道庁の建設交通局長への表敬訪問や、全北大学で講義を行い、日本の建築を紹介し建築文化の交流を行った。対面で全北特別自治道の建築家と有意義な交流が実現できた。また、2月28日から鹿児島市都市景観重要建造物薩摩倉庫運輸石蔵で開催した建築展でKIRA全北建築士会会員の作品パネルの展示を実施した。
- 事業の目的： この国際交流を通して両協会会員の相互理解と友好を深め、建築文化や技術の向上を図る。行政機関への表敬訪問により建築設計者業務の理解や韓国の建築事情を知って頂く機会になる。また、建築家を目指す学生や生徒に対し講義や授業を行い若手の育成に努める。
- 実施場所： 全北特別自治道内（全州市、郡山市、益山市等）
- 参加者： 九州支部鹿児島地域会 5名
- 実施期間： 2024.8.25～2024.8.27（訪韓） 2025.2.28～2025.3.2（パネル展示）
- 日 程： 訪韓の公式スケジュール
 - 8月26日 全州市の古都、郡山市の日本統治時代の建築、益山市の崇林寺と古民家等の視察、
 - 8月27日 全北特別自治道建設交通局表敬訪問、全北大学にて日本の建築の講義、レセプション
- まとめ： コロナ禍と日韓の国際関係の悪化により、2023年度に5年ぶりの対面交流ができ、今年度は2018年の訪韓以来、6年ぶりの訪韓も実現、両国の建築事情等の意見交換と次年度の交流内容について継続する旨確認し、次年度は、KIRAが鹿児島に訪日する予定とした。これまでのJIAとKIRAの交流で韓国の全北大学と鹿児島大学間交流もはじまり、今年も設計実務者の講義が、全北大学で実現することが実施できた。今後も両国の建築文化の交流を通じ、市民や若者との交流にも繋がるよう交流内容を検討し、継続していきたい。
- 報告書作成者： 鹿児島地域会代表 鯨坂徹

JIA 国際交流活動報告写真



全北特別自治道建設交通局表敬訪問



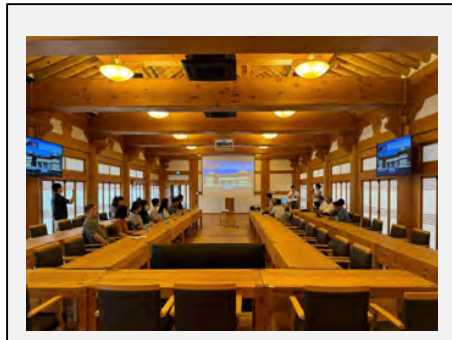
建設交通局長キム・グァンス氏と記念撮影



全北特別自治道建設交通局での意見交換



今後の交流についてのミーティング状況



全北大学での講演



全北大学での講演後の記念撮影



歓迎レセプション



薩摩倉庫運輸石蔵での韓国作品パネル展示